

香川高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)	授業科目	英語ⅣB	
科目基礎情報						
科目番号	201045		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	建設環境工学科 (2019年度以降入学者)		対象学年	4		
開設期	後期		週時間数	2		
教科書/教材	Basic Literacy for the Sciences (Kinseido), ハンドアウト					
担当教員	徳永 慎太郎					
到達目標						
(1)英文の要点を素早く把握し、複雑な文の構造を理解する。 (2)TOEIC L & Rテストの形式に慣れる。 (3)英語によるコミュニケーションにより情報交換ができる。 (4)大学1年次程度の英単語、英語表現の知識を持つ。 (5)科学英語の英文に慣れ、読解できるようになる。						
ループリック						
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安			
評価項目1	英文の要点を素早く把握し、複雑な文の構造を正確に理解する。	英文の要点を把握し、複雑な文の構造を理解する。	英文の要点を把握し、複雑な文の構造を理解することができない。			
評価項目2	TOEIC L & Rテストの形式に十分に対応できる。	問題演習をすることでTOEIC L & Rテストの形式に慣れる。	TOEIC L & Rテストの形式に対応できない。			
評価項目3	英語によるコミュニケーションにより詳細な情報交換ができる。	英語によるコミュニケーションにより基本的な情報交換ができる。	英語によるコミュニケーションにより情報交換ができない。			
評価項目4	大学1年次以上の英単語、英語表現の知識を持つ。	大学1年次程度の英単語、英語表現の知識を持つ。	英単語、英語表現の知識が大学1年次相当に満たない。			
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	科学英語に関する英文を読んで、要旨を素早く把握できる速読力と複雑な英文の構造を理解できる読書力を養う。英語字幕付き英語スピーチの動画を見て、様々な語彙や表現を学びながら英語の読解力、聴解力を向上させる。TOEIC L&Rテストの形式に慣れるためにリスニング、リーディングの演習を集中して行う。また英語での情報交換ができるコミュニケーション能力の育成も目指す。					
授業の進め方・方法	1. 小テストを定期的実施しレッスン内容の増強を図る。 2. 教科書、英文ハンドアウトと視覚・音声教材を用い、リーディング、リスニングの演習、課題演習を行う。 3. 電子辞書、インターネット検索を使ってグループで課題に取り組む。 4. ペアワークによる英会話演習を実施する。					
注意点	特になし					
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週				
		2週				
		3週				
		4週				
		5週				
		6週				
		7週				
		8週				
	4thQ	9週				
		10週				
		11週				
		12週				
		13週				
		14週				
		15週				
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
評価割合						
	試験	小テスト	提出物	合計		
総合評価割合	70	15	15	100		
評価項目(1)	30	0	5	35		
評価項目(2)	20	5	0	25		
評価項目(3)	0	0	5	5		
評価項目(4)	20	10	5	35		